



【学校教育目標】心豊かでたくましく 楽しく学ぶ子供の育成

喜々津東小だより

第7号

令和6年6月24日

校長 中山 美加

「東っ子の心を見つめる教育週間」

御参加ありがとうございました

6月17日（月）からの「東っ子の心を見つめる教育週間」には多くの保護者や地域の方々に学校に来ていただきました。ありがとうございます。

17日（月）は「学校支援会議」が開催されました。学校支援会議は、学校・家庭・地域が一体となって、地域で育む子ども像や目指す地域像を共有し、その実現に向けて三者が役割を果たしながら連携・協働するための仕組みです。PTAの役員さんや自治会長さん、民生児童委員の方々や学校評議員の皆さんに参加いただき、今年度の学校経営方針をお伝えしたほか、地域子ども教室や通学合宿についての話し合い、情報交換などを行いました。東っ子の成長を願って意見交換を行いました。今年度も通学合宿を実施の方向で準備を進めていきます。

21日（金）は授業参観と懇談会でした。道徳の授業参観では子供たちが真剣にテーマについて考え、発表し、考えを深める様子を見ていただけたかと存じます。道徳の授業を中心に、日々の学校生活で、そして家庭で、地域で、子供たちの心をしっかりと育てていきたいと思えます。暑い中の御参観、ありがとうございました。

メディア講習会～メディアの利便性と危険性

教育週間の締めくくりにメディア講習会が開催されました。講師に長崎県メディア安全指導員の梅木澤先生をお招きして「メディアの利便性と危険性」をテーマにお話を聞きました。小学生も学習用端末を一人一台持つ時代。メディア（スマートフォンやタブレット、ゲーム端末などのこと）を安全に使うためには「正しい知識」を持って、「問題に気付く」感覚を大事にしながら、学んだことを実際に使うことが大切であるとのこと。その他、子供を取り巻くメディアの危険性もお話がありました。

- オンラインゲームで暴言を受ける。呼び出しでトラブル。
- SNSでつながった大人から誘拐される。
- 画像や動画がデジタルタトゥーとなり、削除が難しい。
- LINEでのやり取りは過激化しやすく、個人攻撃が起こりやすい。
- SNSのライブ配信等によって住んでいるところや学校等々を特定される。



メディア講習会 ↑

など、様々なトラブルについて具体例を挙げ、話をしてくださいました。長崎県でも起こっている事例とのこと。このようなトラブルの事例を知ることがトラブル回避の第一歩だと考えます。御家庭でもメディアの利用については、ぜひ家族でルールを話し合い、安全な使い方を身につけてほしいと思えます。